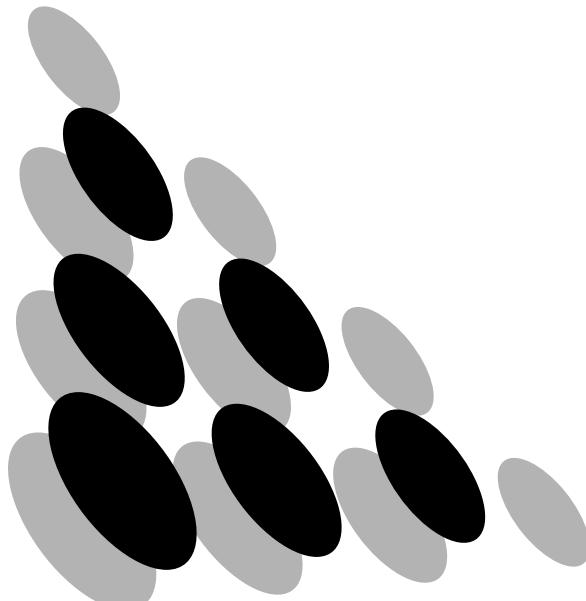


PRIMERGY

内蔵DLT8000ユニット
(PG-DL401/PGBDL401)
取扱説明書 J

Tape Drive DLT8000
(PG-DL401/PGBDL401)
USER'S GUIDE E



はじめに

このたびは、PRIMERGY（プライマージ）用 DLT 8000 ユニットをお買いあげいただき、まことにありがとうございます。

本製品はサーバのデータをバックアップするための補助記憶装置です。

本書は、DLT 8000 ユニット（以下、本製品）の取り扱いの基本的なことがらについて説明しています。

お使いになる前に本書をよくお読みになり、正しい取り扱いをされますようお願いいたします。

2001年6月

安全にお使いいただくために

J

本書には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。

本製品をお使いになる前に、本書を熟読してください。特に、本書の冒頭の「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解された上で本製品をお使いください。

また、本書は、本製品の使用中にいつでも参照できるよう大切に保管してください。

安全上のご注意

本装置を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、いろいろな絵表示をしています。これは装置を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、お読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使用しています。



△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容(左図の場合は感電注意)が示されています。



○で示した記号は、してはいけない行為(禁止行為)であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が示されています。



●で示した記号は、必ず従っていたぐ内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が示されています。

⚠ 警告

窒息



梱包に使用しているビニール袋はお子様が口に入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。

窒息の原因となります。

感電



異物(水・金属片・液体など)が装置の内部に入った場合は、ただちにサーバ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、弊社担当保守員にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



開口部(通風孔など)から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災の原因となります。



装置をお客様自身で改造しないでください。
感電・火災の原因となります。

梱包物を確認してください

ご使用いただく前に、次のものが梱包されていることをお確かめください。

- 内蔵DLT 8000×1
- 取扱説明書（本書）×1
- データカートリッジ×1
- クリーニングカートリッジ×1
- 保証書
- DLTリーフレット×1

万一、不備な点がございましたら、おそれいりますが、お買い求めの販売店
または弊社担当保守員までお申し付けください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

DLT および DLTtapeはクアンタム・コーポレーションの商標です。

会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

All Rights Reserved, Copyright® 富士通株式会社 2001

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

目次

1 取扱い上の注意	1
2 使いかた	2
2.1 外観および各部の名称	2
2.2 各部の機能	3
2.3 ドライブ番号の設定	6
2.4 接続のしかた	6
2.5 操作方法	7
3 運用について	11
4 カートリッジについて	12
5 仕様	15

1 取扱い上の注意

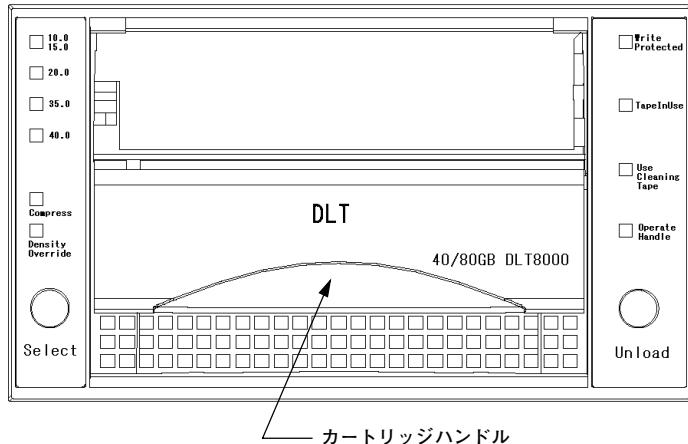
本製品は精密機器ですので、以下のことに注意してください。

- ・ 極端な高温や低温の場所、または温度変化の激しい場所での保管は避けてください。
- ・ 直射日光のあたる場所や発熱器具のそばには近づけないようにしてください。
- ・ 衝撃や振動の加わる場所での保管は避けてください。
- ・ 湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。
- ・ 内部に液体や金属など異物が入った状態でお使いにならないでください。もし、何か異物が入ったときは、弊社担当保守員にご相談ください。
- ・ サーバ本体の電源を切斷するときは、データカセットを取り出してください。
- ・ 本製品前面の汚れは、やわらかい布でからぶきするか、布に水または中性洗剤を含ませて、軽くふいてください。ベンジンやシンナーなど揮発性のものは避けてください。
- ・ 寒い場所から暖かい場所に移動したり、室温を急に上げたりした直後は、内部が結露する場合があります。結露したままお使いになると、本製品やデータカセットを損傷することがあります。大きな温度変化があったときは、24時間以上待ってから電源を入れてください。
- ・ お使いにならないときや電源を切斷するときは、本製品からデータカセットを取り出してください。また、データカセットを入れたまま本製品を持ち運ばないでください。
- ・ 本製品を分解したり、解体したりしないでください。

2 使いかた

2.1 外観および各部の名称

2.1.1 前面パネル



製品に向かって左側のランプ/スイッチ

10.0/15.0 ランプ (黄)
20.0 ランプ (黄)
35.0 ランプ (黄)
40.0 ランプ (黄)
Compress ランプ (黄)
Density Override ランプ (黄)

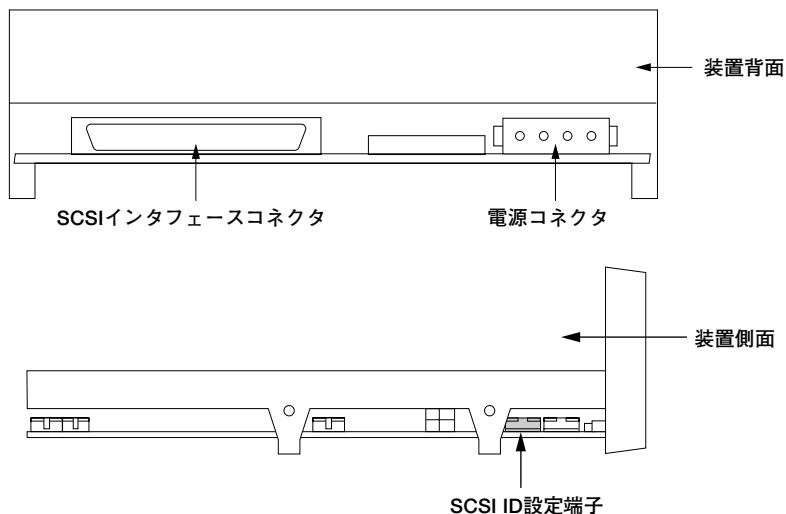
Density Select スイッチ

製品に向かって右側のランプ/スイッチ

Write Protected ランプ (橙)
Tape in Use ランプ (黄)
Use Cleaning Tape ランプ (黄)
Operate Handle ランプ (緑)

Unload スイッチ

2.1.2 コネクタおよび設定端子



J

2.2 各部の機能

2.2.1 前面パネル

ランプおよびスイッチの名称	色	意味および機能
10.0/15.0 ランプ（前面左）	黄	【本製品では使用しません】
20.0 ランプ（前面左）	黄	点灯：セットされているデータカートリッジが20 GB フォーマットで記録されていることを示します。
35.0 ランプ（前面左）	黄	点灯：セットされているデータカートリッジが35 GB フォーマットで記録されていることを示します。
40.0 ランプ（前面左）	黄	点灯：セットされているデータカートリッジが40 GB フォーマットで記録されていることを示します。
Compressランプ（前面左）	黄	消灯：セットされているデータカートリッジが非圧縮モードで記録されていることを示します。 点灯：セットされているデータカートリッジが圧縮モードで記録されていることを示します。 データ記録時の非圧縮モード／圧縮モード切替えは、バックアップソフトウェアの設定、または『Density Selectスイッチ』で行います。

ランプおよびスイッチの名称	色	意味および機能																																															
Density Override ランプ (前面左)	黄	<p>消灯：データ記録時の非圧縮モード／圧縮モードは、バックアップソフトウェアの設定に従います。</p> <p>点灯：データ記録時の非圧縮モード／圧縮モードが『Density Selectスイッチ』によって指示されたことを示します。</p> <p>この場合、バックアップソフトウェアの設定は無視され、非圧縮モード／圧縮モードは『Density Selectスイッチ』にて指示されたモードとなります。</p> <p>点滅：オペレータによって『Density Selectスイッチ』が押下され、非圧縮モード／圧縮モードを選択している最中であることを示します。</p>																																															
Density Select スイッチ (前面左)	—	<p>本スイッチは、データ記録時の非圧縮モード／圧縮モードおよび記録容量を選択する際に使用します。</p> <p>本スイッチは、データカートリッジをセットした直後ののみ操作有効です。</p> <p>本スイッチを押下することで、前面パネル左側にある6つのランプが切り替わりますが、本製品で使用可能なランプ状態の組み合わせは下表のとおりです。表に示すランプ状態で使用してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">データ記録モード</th> <th colspan="5">ランプ状態</th> </tr> <tr> <th>20.0</th> <th>35.0</th> <th>40.0</th> <th>Compress</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非圧縮20GB</td> <td>点灯</td> <td>消灯</td> <td>消灯</td> <td>消灯</td> <td>消灯</td> </tr> <tr> <td>圧縮20GB</td> <td>点灯</td> <td>消灯</td> <td>消灯</td> <td>点灯</td> <td>消灯</td> </tr> <tr> <td>非圧縮35GB</td> <td>消灯</td> <td>点灯</td> <td>消灯</td> <td>消灯</td> <td>消灯</td> </tr> <tr> <td>圧縮35GB</td> <td>消灯</td> <td>点灯</td> <td>消灯</td> <td>点灯</td> <td>消灯</td> </tr> <tr> <td>非圧縮40GB</td> <td>消灯</td> <td>消灯</td> <td>点灯</td> <td>消灯</td> <td>消灯</td> </tr> <tr> <td>圧縮40GB</td> <td>消灯</td> <td>消灯</td> <td>点灯</td> <td>点灯</td> <td>消灯</td> </tr> </tbody> </table>	データ記録モード	ランプ状態					20.0	35.0	40.0	Compress	その他	非圧縮20GB	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	圧縮20GB	点灯	消灯	消灯	点灯	消灯	非圧縮35GB	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	圧縮35GB	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	非圧縮40GB	消灯	消灯	点灯	消灯	消灯	圧縮40GB	消灯	消灯	点灯	点灯	消灯
データ記録モード	ランプ状態																																																
	20.0	35.0	40.0	Compress	その他																																												
非圧縮20GB	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯																																												
圧縮20GB	点灯	消灯	消灯	点灯	消灯																																												
非圧縮35GB	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯																																												
圧縮35GB	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯																																												
非圧縮40GB	消灯	消灯	点灯	消灯	消灯																																												
圧縮40GB	消灯	消灯	点灯	点灯	消灯																																												
Write Protected ランプ (前面右)	橙	<p>点灯：セットされているデータカートリッジは、書き込み禁止の設定になっています。</p> <p>消灯：セットされているデータカートリッジは、書き込み許可の設定になっています。</p>																																															
Tape in Use ランプ (前面右)	黄	<p>消灯：データカートリッジがセットされていません。</p> <p>点灯：データカートリッジがセットされ、本製品は動作可能な状態で待機中です。</p> <p>点滅：本製品は動作中です。</p>																																															

ランプおよびスイッチの名称	色	意味および機能
Use Cleaning Tape ランプ (前面右)	黄	<p>消灯：クリーニング実施の必要はありません。また、クリーニングカートリッジを取り出した際に消灯した場合は、クリーニング動作が成功したことを示します。</p> <p>点灯：本製品に対し、クリーニングを実施する必要があります。</p> <p>また、クリーニングカートリッジを取り出しても、本ランプが消灯しない場合は、クリーニングカートリッジが寿命です。</p> <p>新しいクリーニングカートリッジでもう一度クリーニングを実施してください。</p> <p>クリーニング成功後、データカートリッジをセットした直後に本ランプが再点灯する場合は、データカートリッジが傷んでいます。新しいデータカートリッジに交換してください。</p> <p>点滅：現在使用中のデータカートリッジの不良を検出しました。</p> <p>クリーニングを実施後、新しいデータカートリッジを使用してください。</p>
Operate Handle ランプ (前面右)	緑	<p>消灯：前面パネルの『カートリッジハンドル』を引き上げることはできません。</p> <p>点灯：前面パネルの『カートリッジハンドル』を引き上げることができます。</p>
Unload スイッチ (前面右)	—	<p>データカートリッジの取り出しに先立ち本スイッチを押します。</p> <p>スイッチが押下されると、本製品はカートリッジ内にテープを巻き取ります。巻き取り動作が完了し、『カートリッジハンドル』を引き上げることが可能になると、前面パネル右側の『Operate Handleランプ』が点灯し、データカートリッジ取り出し可能状態になります。</p>

Point

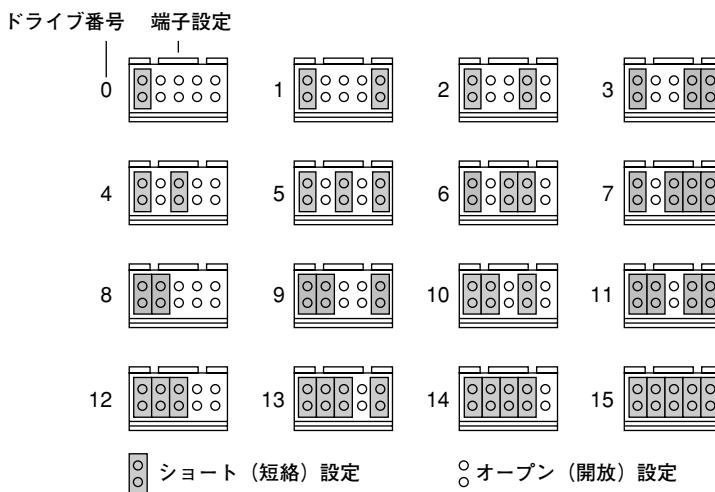
なお、前面パネル左側のランプの全て、または右側のランプの全てが同時に点滅している場合は、本製品が故障したことを示します。この場合は、電源を一旦切断し、再度投入します。それでも故障が復旧しない場合は、弊社担当保守員にご連絡ください。

2.2.2 コネクタおよび設定端子

コネクタおよびスイッチの名称	機能
電源コネクタ	サーバ本体装置の架内電源ケーブルを差し込みます。
S C S I インタフェースコネクタ	サーバ本体装置の架内S C S I ケーブルを差し込みます。
S C S I I D 設定端子	ドライブ番号の設定に使用します。ドライブ番号の設定については、「2.3 ドライブ番号の設定」を参照ください。

2.3 ドライブ番号の設定

S C S I I D 設定端子の設定により、本製品のドライブ番号を0～15に変更可能です。ドライブ番号と端子設定の対応を表に示します。デフォルトは‘5’に設定されています。



■設定上の注意

他のS C S I 接続機器に設定した番号や、本体装置のS C S I ボードに設定した番号（一般的に7または0）と同じ番号に設定しないでください。

2.4 接続のしかた

本製品を本体装置に内蔵する方法は、本体装置の取扱説明書に記載されている、『内蔵S C S I オプションの取り付け』の記事を参照してください。

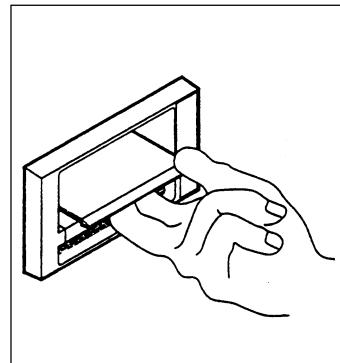
2.5 操作方法

2.5.1 データカートリッジのセット

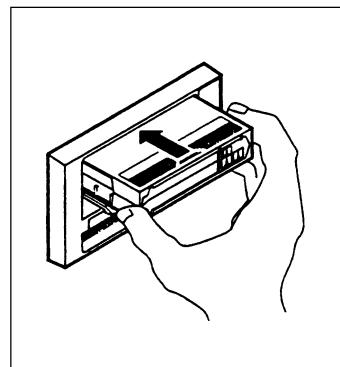
- ① 『Operate Handleランプ』（緑）が点灯していることを確認し、カートリッジハンドルを引き上げます。

Point

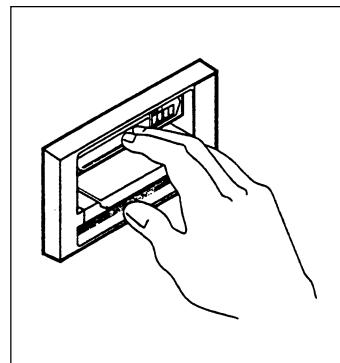
『Operate Handleランプ』が点滅している場合は、一旦カートリッジハンドルを下ろし『Operate Handleランプ』が点灯してから再度ハンドルを引き上げます。



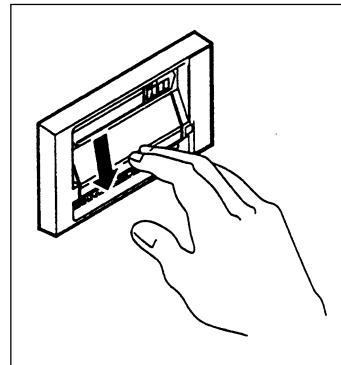
- ② データカートリッジの向きに注意して挿入します。



- ③ データカートリッジを押し込みます。



- ④ カートリッジハンドルを静かに下ろします。
『Operate Handleランプ』が消灯し、『Tape in Use ランプ』が点滅し始めます。『Tape in Use ランプ』の点滅が点灯に変わったらセット完了です。

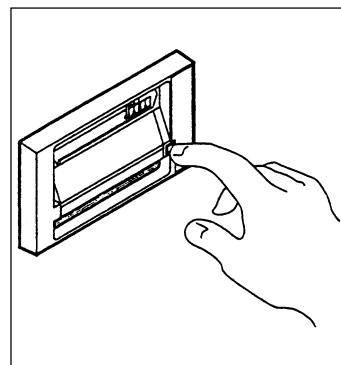


■ データカートリッジのセットにおける注意

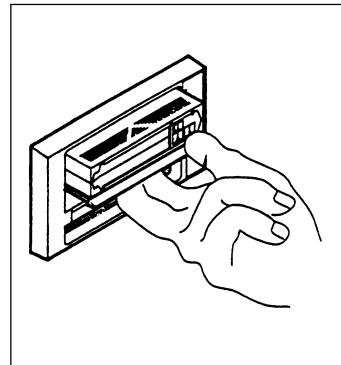
電源が投入されていない状態では、データカートリッジのセットはできません。

2.5.2 データカートリッジの取り出し

- ① 前面パネル右側の『Unloadスイッチ』を押下します。『Tape in Useランプ』（黄）が点滅し、テープの巻き取りが始まります。



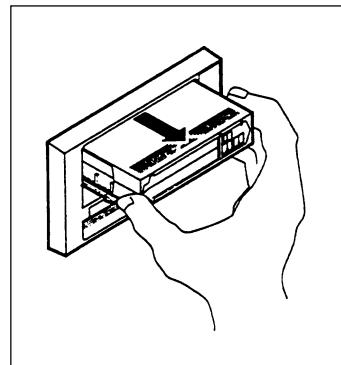
② 『Operate Handleランプ』（緑）が点灯することを確認し、カートリッジハンドルを引き上げます。



③ ハンドルを引き上げてから、2秒以上待ってデータカートリッジを取り出します。

⚠ 注意

ハンドルの引き上げ後、直ぐにカートリッジを取り出すと、テープ先頭部分が損傷する恐れがあります。

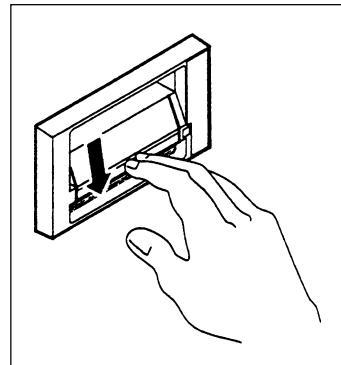


④ カートリッジハンドルを静かに下ろします。

⚠ 注意

■ データカートリッジの取り出しにおける注意事項

- ・データカートリッジの取り出しは、本製品が接続されている本体装置の電源を切斷する前に行ってください。取り出し操作が失敗し、データカートリッジおよび本製品が破損する恐れがあります。
- ・取り出したデータカートリッジは、専用のプラスチックケースに格納し保管してください。ケースに格納せずに保管した場合、データカートリッジの寿命が短くなります。



2.5.3 クリーニングの方法

前面パネル右側の『Use Cleaning Tape ランプ』（黄）が点灯または点滅した場合は、クリーニングカートリッジによるクリーニングを実施しなければなりません。

● 『Use Cleaning Tape ランプ』の点灯

『Use Cleaning Tape ランプ』が点灯した場合は、以下の手順に従ってクリーニングを実施してください。

- ① 『Operate Handle ランプ』（緑）が点灯していることを確認し、カートリッジハンドルを引き上げます。
- ② クリーニングカートリッジを挿入します。
- ③ クリーニングカートリッジを押し込みます。
- ④ カートリッジハンドルを静かに下ろします。
『Operate Handle ランプ』が消灯し、『Tape in Use ランプ』が点滅を始め、クリーニング動作が自動的に実行されます。
- ⑤ クリーニング動作が完了すると、『Operate Handle ランプ』が点灯します。
- ⑥ カートリッジハンドルを引き上げます。
- ⑦ ハンドルを引き上げて 2 秒以上待ってから、クリーニングカートリッジを取り出します。
- ⑧ カートリッジハンドルを静かに下ろします。

● 『Use Cleaning Tape ランプ』の点滅

『Use Cleaning Tape ランプ』が点滅した場合は、現在使用中のデータカートリッジが損傷しています。クリーニングを実施後、新しいデータカートリッジに交換してください。

● クリーニングを実施しても『Use Cleaning Tape ランプ』が消えない

クリーニングカートリッジの使用が 20 回を超え、使用できなくなっています。新しいクリーニングカートリッジを使用し、再度クリーニングを実施してください。

● クリーニング実施後、データカートリッジをセットすると直ぐに『Use Cleaning Tape ランプ』が点灯

『Use Cleaning Tape ランプ』が点滅した場合は、現在使用中のデータカートリッジが損傷しています。

新しいデータカートリッジに交換してください。

3 運用について

- ・ バックアップにおける媒体のローテーション運用

データのバックアップ処理において、毎回、同じ媒体を使用して、前回バックアップしたデータを上書きしていると、万一、バックアップ処理中に磁気ディスク装置に故障が発生した場合、データが失われる危険があります。

媒体をローテーションして運用することにより、このような場合も被害を少なくすることができます。

データのバックアップは複数のデータカートリッジをローテーションして使うことをお勧めします。

- ・ 本製品は定期的なヘッドクリーニングは不要ですが、ヘッドにゴミが付着した場合等に装置がヘッドクリーニング要求状態となることがあります。

ヘッドクリーニング要求状態となった状態では装置を使用することができないので、クリーニングカートリッジは紛失しないようご注意ください。

- ・ ヘッドクリーニングを行った後は、クリーニングカートリッジに添付されているラベルを使用して、必ずクリーニングカートリッジの使用回数を記録してください。クリーニングカートリッジの使用可能回数（20回）を過ぎている場合、クリーニングを行ってもクリーニング効果はありません。（装置のクリーニング要求状態が解除されません）

- ・ 装置に媒体を入れたまま運用すると媒体を劣化させるため、使用後は媒体を装置から取り出してください。

- ・ DLT 8000 ユニットで記録密度に40GBを指定して書き込んだデータは DLT 7000 ユニット (PG-DL351/GP5-DL351/GP-DL351*) および DLT 4000 ユニット (PG-DL201/GP5-DL201/GP-DL202*) で読み取ることはできません。

- ・ データ圧縮率は、標準的に約2倍となります、圧縮するデータの内容により変化します。

バックアップ対象のデータが既にデータ圧縮処理されている場合、圧縮効果は期待できません。

- ・ データ圧縮率がn倍となった場合、媒体に書き込まれるデータ量がn分の1に減少するため、媒体とドライブ間のデータ転送速度は見かけ上n倍となります。

（ただし、最大でもSCSIインターフェースの最大転送速度を超えることはありません）

*：2001年6月現在出荷中の型名

4 カートリッジについて

(1) 使用媒体

- ・本製品には下記の媒体をお使いください。

品名	商品番号	出荷単位	備考
データカートリッジ DLT IV	0160110	5巻	DLT Tape IV 外形寸法：W 105.7 × D 105.4 × H 25.4 質量：223g
クリーニングカートリッジ DLT	0160120	1巻	20回使用可

(注) データカートリッジは消耗品です。使用回数1000回を目安に媒体を交換してください。データカートリッジの寿命は動作状態や設置環境（温度、湿度など）によって変化します。クリーニングを実施しても媒体エラーが発生するようであれば、テープが劣化している可能性がありますので媒体を交換してください。

(2) 媒体の取扱い

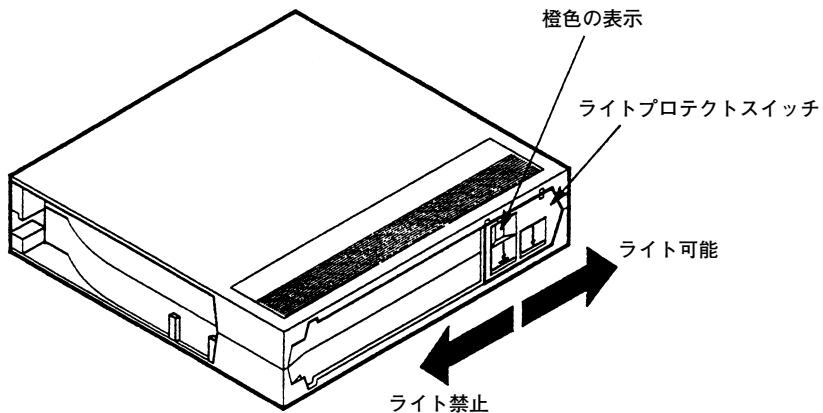
- ・結露を避けるため、急激な温湿度変化（15°C/h, 20%/h）を与えないでください。
- ・使用環境が変わった場合は、新しい環境のもとで24時間以上置いて媒体を環境になじませてください。
- ・使わない時は、プラスチックケースに入れてください。
- ・落としたり、衝撃・振動を与えないように注意してください。
- ・ほこり、油等が着かないように清潔にしてください。
- ・フタを開けたり、中のテープに触ったりしないでください。
- ・強磁界を発生する機器（モータ、スピーカ等）に近づけないでください。

Point

落としたり、衝撃・振動を与えた媒体は、使わないでください。
装置故障の原因になることがあります。

・書き込み保護について

データカートリッジには書き込み保護スイッチがついています。

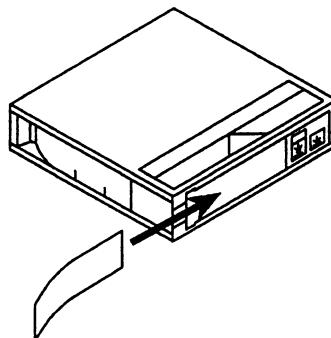


J

・媒体へのラベル表示について

データカートリッジにラベルを表示する場合は、カートリッジに添付されているラベルを使用してください。ラベルは決められた位置（書き込み保護スイッチ横）に取付け、カートリッジの上下、左右、後にはラベルを付けないでください。

正しいラベルの位置



(3) 媒体の保管

- データカートリッジを保管する場合は、以下の環境条件を守る必要があります。

データが記録されていない場合	温度：16～32℃, 相対湿度：20～80%（結露しないこと）
データが記録されている場合	温度：18～28℃, 相対湿度：40～60%（結露しないこと） 磁場環境：4000A/m 未満

また、以下の点にご注意ください。

- プラスチックケースに入れてください。
- 直射日光に当てないでください。
- CRTディスプレイ、ビデオ、スピーカ、モータ等、強い磁界を発する機器に近づけないでください。

5 仕様

J

項目	内蔵D L T 8 0 0 0 ユニット PG-DL401/PGBDL401
ドライブ	D L T 8 0 0 0
非圧縮データ記憶容量	4 0 G B／巻
データ	媒体-Drive間 6.0 MB/s
転送速度	SCSIインターフェース上 最大 2 0 . 0 MB/s
データ圧縮機能	あり※
データ記録密度指定	2 0 GB、3 5 GBまたは4 0 GB
トラック数	2 0 8 トラック
ビット記録密度	9 8 , 2 5 0 bpi
トラック密度	4 1 6 tpi
エラーレート	訂正不能なエラー発生 1 × 1 0 ¹⁷ ビット R e a d に1回
ホストインターフェース	FAST & WIDE SCSI Single-Ended/LVD
消費電力	最大 5 6 W
外形寸法 [mm]	W 1 4 9 × H 8 6.3 × D 2 4 3.8
質量	2.9 k g

※データ圧縮率は、標準的に約2倍となります、圧縮するデータの内容により変化します。

Preface

Thank you for your purchase of our Tape Drive DLT8000 unit.

The drive is a Tape Unit to backup data stored in the server.

This manual gives an essential explanation of the Tape Drive DLT8000 unit (hereinafter called the unit or this unit).

Before starting connection and operation, carefully read this manual for right use of this unit.

June, 2001

For safe use of this unit

Here are important pieces of information about safe use of this unit in this manual.

Carefully read this manual and understand every mention, particularly "Safety precautions" appearing at the beginning part, before use of this unit.

After reading, retain this manual at hand for quick reference any time the need arises during operation.

Safety precautions



To use this unit safely, be sure to follow the instructions that will be written below.

Various marks, icons and illustrations appear in this book. They are used as eye-catchers to take precautions against possible accident and damage that may suffer the user and other person. Understand the contents of warnings, cautions and other instructions headed by the special marks well to use the unit in safety.

Warning

Indicates that there is a possibility of occurrence of accidental death or serious injury if the unit is incorrectly used without attention to this warning.

Caution

Indicates that there is a possibility of occurrence of injury or physical damage if the unit is incorrectly used without attention to this caution.

Besides the above eye-catcher mark of Warning and Caution, the following icons are used to show possible danger and damage in detail.

Electric shock



The  mark gives warning or caution to the user against the matter that is mentioned following the mark. A word (or words) appearing inside or above the mark concretely explain the warning or caution. (This example warns the user against electric shock.)

Disassemble



The  mark shows a must-not act that is mentioned following the mark. A word (or words) appearing inside or above the mark concretely explain the must-not act. (This example prohibits disassembling.)

Unplug



The  mark shows a must-do act that is mentioned following the mark. A word (or words) appearing inside or above the mark concretely explain the must-do act. (This example directs the user to unplug the power cable from the AC outlet.)

Warning

Suffocation



Carefully keep or dispose the vinyl bags used for covering articles, because those bags may suffocate babies and children if they play with bags over their heads or they cover or fill their mouths with bags.

Electric shock



When the unit gets some foreign substance (water, metal particle, liquid, etc.), immediately turn off the power switch and disconnect the power cable from the AC outlet, and then make a contact with our maintenance man in charge.

If the unit is continually used as it has got foreign substance inside, it may cause a fire or electric shock.

Always be careful to avoid such a trouble, particularly in such the home as a baby or child can easily access the unit.

Electric shock

Don't insert or drop any foreign substance such as metal particle, flammable thing, etc. into the unit through an opening (vent, etc.), otherwise it may cause a fire or electric shock.

Electric shock

Don't modify the unit by the user himself, because modification by improper means may cause a fire or electric shock.

Confirm contents of package

On unpacking the package, check to see if all the following things are contained in it.

- Built-in Tape Drive DLT8000
- USER'S GUIDE (this manual) × 1
- Data cartridge × 1
- Cleaning cartridge × 1
- DLT Leaflet × 1

If there is something lacking in the contents, require the store that you purchased this unit at or our maintenance man to supply it.

This Product is designed, developed and manufactured as contemplated for general use, including without limitation, general office use, personal use, household use, and ordinary industrial use, but is not designed, developed and manufactured as contemplated for use accompanying fatal risks or dangers that, unless extremely high safety is secured, could lead directly to death, personal injury, severe physical damage or other loss (hereinafter "High Safety Required Use"), including without limitation, nuclear reaction control in nuclear facility, aircraft flight control, air traffic control, mass transport control, medical life support system, missile launch control in weapon system. You shall not use this Product without securing the sufficient safety required for the High Safety Required Use. If you wish to use this Product for High Safety Required Use, please consult with our sales representatives in charge before such use.

"DLT" and "DLTtape" are registered trademarks of Quantum Corporation.

Company names and product names appearing in this manual are trade names and registered trade marks of respective companies.

Copyright® Fujitsu Ltd., 2001. All rights reserved.

Contents

1 Cautions on handling	1
2 How to use	2
2. 1 Outward views and names of main parts	2
2. 2 Function of each part	3
2. 3 Setting of drive number	6
2. 4 Connection	6
2. 5 Operation	7
3 Some hints on use	11
4 Cartridge	12
5 Specifications	15

1 Cautions on handling

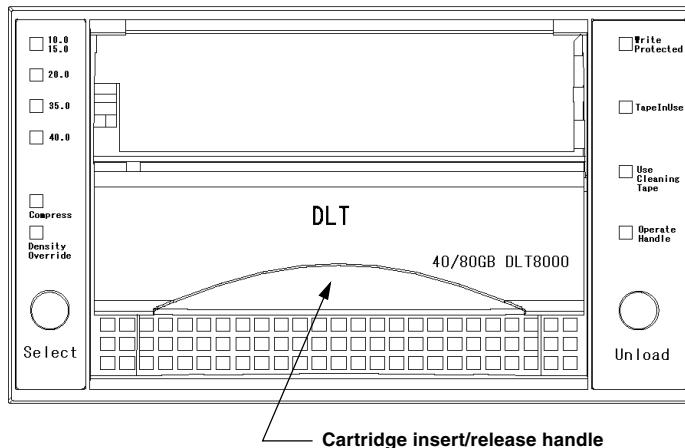
Since this unit is a precision instrument, always pay heed to the following matters.

- Don't keep this unit in a place where the temperature is extremely high or low, or changes sharply.
- Don't place this unit in a place where it is directly exposed to the sun or affected by a heat generating apparatus.
- Don't keep this unit in a place where it is affected by a shock or vibration.
- Don't use this unit in a dusty or moist place.
- Don't use this unit as it has got some foreign substance inside. When it gets some foreign substance inside, consult with our maintenance man about the matter.
- When turning off the server connected with this unit, be sure to remove the data cartridge from this unit beforehand.
- When cleaning the front panel of this unit, wipe it down lightly with soft dry cloth or soft cloth moistened with water or neutral detergent. Don't use volatile liquid such as benzine, thinner, etc. for cleaning.
- When this unit is moved from a cold place to a warm place or the ambient temperature suddenly rises, the inside of the unit is occasionally dewed. If the unit is operated as it has got dewed inside, the unit and the data cartridge may be damaged. When there is a sharp change in the ambient temperature, leave the unit for 24 hours or more as turned off before turning it on again.
- Before turning off this unit and any time it is out of operation, remove the data cartridge from the unit without fail. Don't carry or more the unit with a data cartridge inside.
- Neither disassemble this unit nor remove any part.

2 How to use

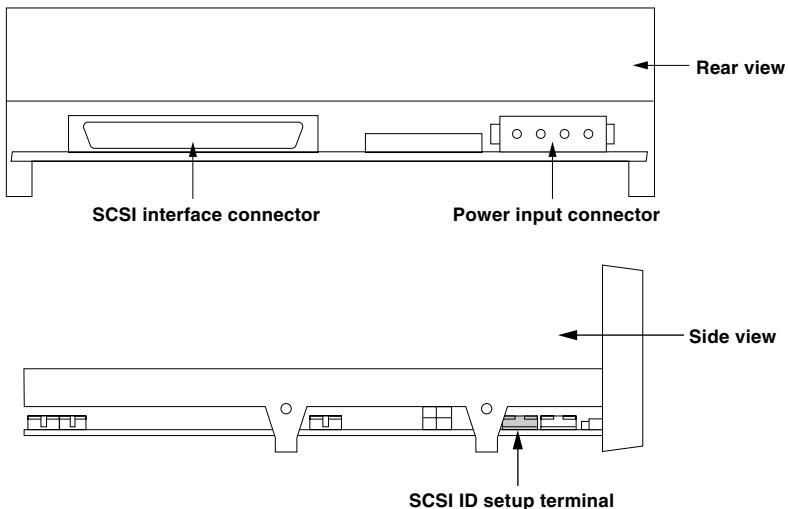
2. 1 Outward views and names of main parts

2. 1. 1 Front Panel



Indicator lamps and switch (Front left side)	Indicator lamps and switch (Front right side)
“10.0/15.0” (10.0/15.0 GB density) indicator lamp (Yellow)	“Write Protected” indicator lamp (Orange)
“20.0” (20.0 GB density) indicator lamp (Yellow)	“Tape in Use” indicator lamp (Yellow)
“35.0” (35.0 GB density) indicator lamp (Yellow)	“Use Cleaning Tape” indicator lamp (Yellow)
“40.0” (40.0 GB density) indicator lamp (Yellow)	“Operate Handle” indicator lamp (Green)
“Compress” (compression) indicator lamp (Yellow)	
“Density Override” indicator lamp (Yellow)	
“Select” (density select) switch	“Unload” switch

2. 1. 2 Connectors and setup terminal



2. 2 Function of each part

E

2. 2. 1 Front panel

Name of Indicator lamp/ Switch	Color	Description (Function, etc.)
“10.0/15.0” (10.0/15.0 GB density) indicator lamp (Front left)	Yellow	(Not used in this model)
“20.0” (20.0 GB density) indicator lamp (Front left)	Yellow	ON: Indicates that the data cartridge currently loaded in this unit is formatted for 20 GB density.
“35.0” (35.0 GB density) indicator lamp (Front left)	Yellow	ON: Indicates that the data cartridge currently loaded in this unit is formatted for 35 GB density.
“40.0” (40.0 GB density) indicator lamp (Front left)	Yellow	ON: Indicates that the data cartridge currently loaded in this unit is formatted for 40 GB density.
“Compress” (compression) indicator lamp (Front left)	Yellow	OFF: Indicates that the data stored in the data cartridge currently loaded in this unit is recorded in the non-compression mode. ON: Indicates that the data stored in the data cartridge currently loaded in this unit is recorded in the compression mode. Switching between the non-compression mode and compression mode for data recording can be performed by the “Density Select” switch or by setup of backup software.

Name of Indicator lamp/ Switch	Color	Description (Function, etc.)																																																			
“Density Override” indicator lamp (Front left)	Yellow	OFF:	The non-compression mode or compression mode for data recording is selected according to the setup of the backup software.																																																		
		ON:	Indicates that the non-compression mode or compression mode for data recording is specified by the “Density Select” switch. In this case, the non-compression mode or compression mode is selected by the “Density Select” switch while the setup of the backup software is disregarded.																																																		
		Blinking:	Indicates that the “Density Select” switch is being pressed by the operator and the non-compression mode or compression mode is under selection.																																																		
“Select” (density select) switch (Front left)	—	This switch is to be used for selecting the non-compression mode or compression mode for data recording and for selecting the storage capacity. Operation of this switch is effective just after a data cartridge is loaded in this unit. When this switch is pressed, the lighting status of the six indicator lamps located in the left side of the front panel changes. This unit can be used in such the lighting status of the indicator lamps as shown in the following table. Make sure of the lighting status for each operation of this unit.																																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">Data recording mode</th> <th colspan="5">Status of indicator lamp</th> </tr> <tr> <th>20.0</th> <th>35.0</th> <th>40.0</th> <th>Compress</th> <th>Others</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Compression OFF 20 GB</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>Compression ON 20 GB</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>Compression OFF 35 GB</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>Compression ON 35 GB</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>Compression OFF 40 GB</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>Compression ON 40 GB</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> </tr> </tbody> </table>					Data recording mode	Status of indicator lamp					20.0	35.0	40.0	Compress	Others	Compression OFF 20 GB	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	Compression ON 20 GB	ON	OFF	OFF	ON	OFF	Compression OFF 35 GB	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	Compression ON 35 GB	OFF	ON	OFF	ON	OFF	Compression OFF 40 GB	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	Compression ON 40 GB	OFF	OFF	ON	ON	OFF
Data recording mode	Status of indicator lamp																																																				
	20.0	35.0	40.0	Compress	Others																																																
Compression OFF 20 GB	ON	OFF	OFF	OFF	OFF																																																
Compression ON 20 GB	ON	OFF	OFF	ON	OFF																																																
Compression OFF 35 GB	OFF	ON	OFF	OFF	OFF																																																
Compression ON 35 GB	OFF	ON	OFF	ON	OFF																																																
Compression OFF 40 GB	OFF	OFF	ON	OFF	OFF																																																
Compression ON 40 GB	OFF	OFF	ON	ON	OFF																																																
“Write Protected” indicator lamp (Front right)	Orange	ON:	Indicates that the data cartridge currently loaded in this unit is protected from writing.																																																		
		OFF:	Indicates that the data cartridge currently loaded in this unit is enabled for writing.																																																		
“Tape in Use” indicator lamp (Front right)	Yellow	OFF:	Indicates that no data cartridge is loaded in this unit.																																																		
		ON:	Indicates that a data cartridge is loaded in this unit and the unit is in the standby status.																																																		
		Blinking:	Indicates that this unit is in operation.																																																		

Name of Indicator lamp/ Switch	Color	Description (Function, etc.)		
“Use Cleaning Tape” indicator lamp (Front right)	Yellow	OFF:	Indicates that this unit has no need of head cleaning. Or, if this lamp goes out after a cleaning cartridge is removed from this unit, it means that the cleaning has successfully been performed.	
		ON:	Indicates that this unit has need of head cleaning. Or, if this lamp does not go out after a cleaning cartridge is removed from this unit, it indicates that the cleaning cartridge has come to the end of its service life. In this case, again perform head cleaning with a new cleaning cartridge. If this lamp goes on again just after a data cartridge is loaded in this unit after completion of head cleaning, it indicates that the data cartridge is defective. In this case, replace the data cartridge with new one.	
		Blinking:	Indicates that the data cartridge currently loaded in this unit is detected as faulty. Set a new data cartridge after cleaning operation with a cleaning cartridge.	
“Operate Handle” indicator lamp (Front right)	Green	OFF:	Indicates that the “Cartridge insert/release handle” on the front panel cannot be pulled up.	
		ON:	Indicates that the “Cartridge insert/release handle” on the front panel can be pulled up.	
“Unload” switch (Front right)	—		Press this switch for removing the data cartridge from this unit. When this switch is pressed, the tape is wound up in the data cartridge. When the tape is completely wound up in the cartridge and the “Cartridge insert/release handle” is ready to be pulled up, the “Operate Handle” indicator lamp located in the right side of the front panel goes on indicating that the data cartridge can be removed from this unit.	

E

Point

If all lamps located in the left part of the front panel or all lamps located in the right part of the front panel are blinking together, it represents that the unit falls into failure. In such the case, turn off the unit once and again turn it on. If the unit is still in failure after the turning off and on operation, consult with our maintenance man in charge about the trouble.

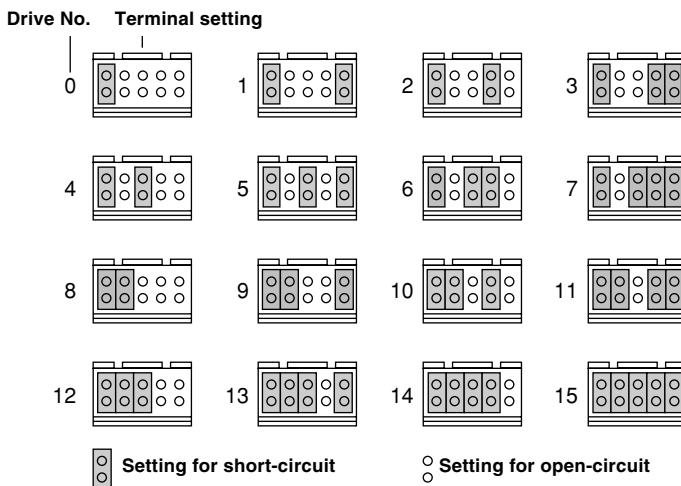
2. 2. 2 Connectors and setup terminal

Names of connectors and setup terminal	Function
Power input connector	Connect the in-flame power cable of the server equipment to this connector.
SCSI interface connector	Connect the in-flame SCSI cable of the server equipment to this connector.
SCSI ID setup terminal	Set drive numbers with this setup terminal. For setting of drive numbers in detail, refer to "2.3 Setting of drive number".

2. 3 Setting of drive number

Drive numbers of this unit can be set and changed between 0 and 15 by means of the SCSI ID setup terminal. Relation between drive numbers and setting of terminal is shown below.

The default setting is '5'.



■ Note on setup

Don't use the same numbers as used for other SCSI equipment connected with this unit and for the SCSI board of the main unit of the system (7 or 0 is generally used).

2. 4 Connection

For building this unit in the main unit of the system, refer to the description of "Mounting built-in SCSI option" in the instructions of the main unit.

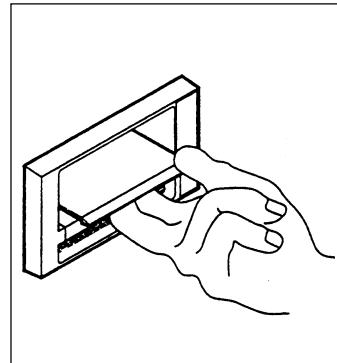
2. 5 Operation

2. 5. 1 Loading data cartridge

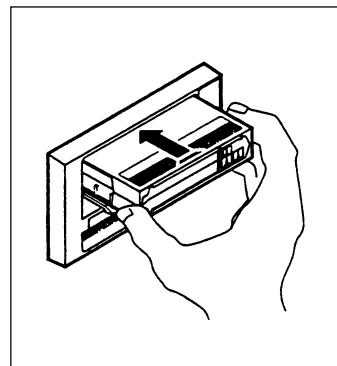
- ① Making sure that the “Operate Handle” indicator lamp is on (green), pull up the cartridge handle.

Point

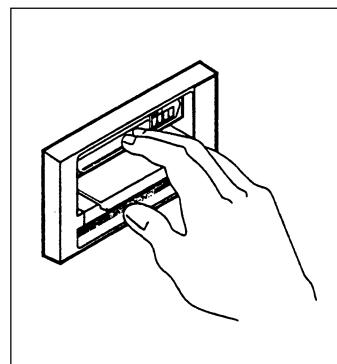
If the “Operate Handle” indicator lamp is blinking, press down the cartridge insert/release handle once and again pull it up after the “Operate Handle” indicator lamp continues to light.



- ② Paying careful attention to the orientation of the data cartridge, insert it into the slot.

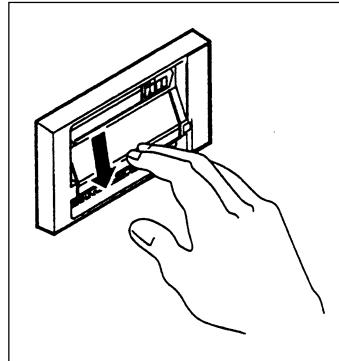


- ③ Push the data cartridge into the inner part.



- ④ Press down the cartridge insert/release handle gently.

The “Operate Handle” indicator lamp goes out while the “Tape in Use” indicator lamp starts blinking. When the “Tape in Use” indicator lamp stops blinking and continues to light, the data cartridge is completely loaded.

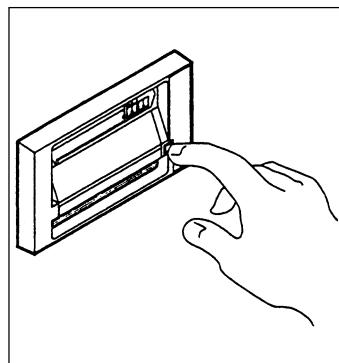


■ Note on setting data cartridge

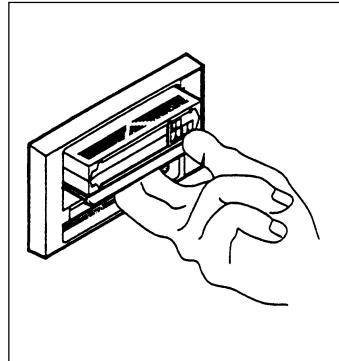
When this unit is turned off, no data cartridge can be loaded.

2. 5. 2 Unloading data cartridge

- ① Press the “Unload” switch located in the right side of the front panel. The “Tape in Use” indicator lamp starts blinking (yellow) to indicate that the tape is wound up.



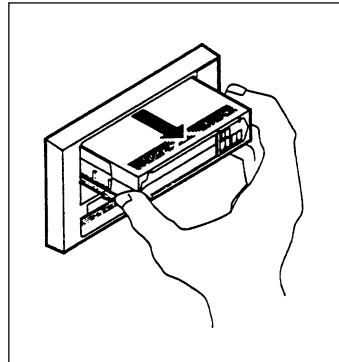
- ② When the “Operate Handle” indicator lamp goes on (green), the cartridge insert/release handle can be pulled up.



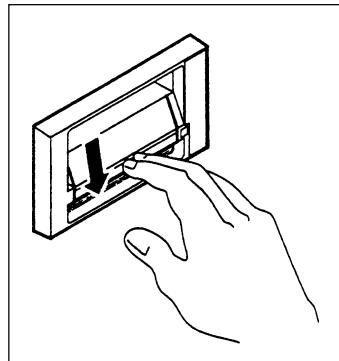
- ③ Remove the data cartridge from the unit 2 or more seconds after the cartridge insert/release handle was pulled up.

⚠ Caution

If the data cartridge is removed from the unit immediately after the cartridge insert/release handle is pulled up, the beginning part of the tape may be damaged.



- ④ Press down the cartridge insert/release handle gently.



⚠ Caution

■ Note on removing data cartridge from the unit

- Be sure to remove the data cartridge from the unit before turning off the main unit connected with this unit. If the main unit is turned off before removing the data cartridge, ejection of the cartridge may result in failure and both the cartridge and this unit may break down.
- After removing the data cartridge from the unit, keep it in a plastic case for exclusive use for the data cartridge. If the data cartridge is kept out of the exclusive case, its service life is shortened.

2. 5. 3 Method of cleaning

When the “Use Cleaning Tape” indicator lamp (yellow) located in the right side of the front panel goes on or starts blinking, the unit needs cleaning with a cleaning tape.

- The “Use Cleaning Tape” indicator lamp is on.

When the “Use Cleaning Tape” indicator lamp goes on, perform cleaning according to the following procedure.

① Making sure that the “Operate Handle” indicator lamp (green) is on, pull up the cartridge insert/release handle.

② Insert a cleaning cartridge into the slot.

③ Press the cleaning cartridge into the inner part.

④ Press down the cartridge insert/release handle gently.

The “Operate Handle” indicator lamp goes out while the “Tape in Use” indicator lamp starts blinking. This lighting status indicates that cleaning operation is automatically started.

⑤ When cleaning operation is complete, the “Operate Handle” indicator lamp goes on.

⑥ Pull up the cartridge insert/release handle.

⑦ Remove the cleaning cartridge 2 or more seconds after the cartridge insert/release handle was pulled up.

⑧ Press down the cartridge insert/release handle gently.

- The “Use Cleaning Tape” indicator lamp is blinking.

When the “Use Cleaning Tape” indicator lamp is blinking, it indicates that the data cartridge currently loaded in the unit is faulty. Replace the data cartridge with new one after cleaning with a cleaning cartridge.

- The “Use Cleaning Tape” indicator lamp does not go out after cleaning.

The cleaning cartridge was used twenty times or more and it has come to the end of its service life. Make a fresh start of cleaning with a new cleaning cartridge.

- The “Use Cleaning Tape” indicator lamp goes on with setting of a data cartridge after cleaning.

When the “Use Cleaning Tape” indicator lamp blinks, it indicates that the data cartridge currently loaded in the unit is faulty. Replace the data cartridge with new one.

3 Some hints on use

- Rotational use of storage media for data backup

If the same storage medium is repeatedly used to backup data and previous data is overwritten by new data every time, there is a fear that the data suddenly gets lost during backup operation if the magnetic storage device falls into failure.

To avoid such data loss, it is recommended to use multiple storage media in rotation to make backup copies of data.

- This unit has no need of periodical head cleaning, however, it needs head cleaning when the head gets dust and so on. When the unit comes into the head cleaning request status, it is unusable. Therefore, carefully keep the cleaning cartridge not to lose it.
- After head cleaning with the cleaning cartridge, note down the number of times of use of the cleaning cartridge on the label supplied with the cleaning cartridge. If the cleaning cartridge was used exceeding the usable limit (20 times), cleaning with the cleaning cartridge has no effect on the head (in other words, the unit is not recovered from the head cleaning request status).
- If the storage medium is left in the unit though it is not used, it deteriorates the storage medium. Be sure to remove the storage medium from the unit after use of it.
- Data that was written by the Tape Drive DLT8000 with specification of 40GB recording density cannot be read by the Tape Drive DLT4000 (PG-DL201/GP5UDL201*) and the Tape Drive DLT7000 (PG-DL351/GP5-DL351*).
- Standard data compression rate is twice the standard, however, it depends on contents of data to be compressed.

If data to be backed up has already been compressed, there is little expectation of repeated data compression.

- When the data compression rate is n times, the apparent data transfer rate between the drive and storage medium is n times because the quantity of data to be written on a storage medium is reduced to one-nth.

(However, the data transfer rate at the maximum compression does not exceed the maximum data transfer rate of the SCSI interface.)

*: Available model at June 2001.

4 Cartridge

(1) Applicable cartridge

Use the following cartridges for this unit without fail.

Product name	Manufacturer	Remarks
DLT tape IV	Quantum Corporation	Data cartridge Outside dimensions: 105.7(W) × 105.4(D) × 25.4(H) mm Weight: 223g
Cleaning tape III		Can be used 20 times

*: The data cartridges are consumable items. Replace the data cartridge when it was used over 1000 times. However service life of the data cartridge depends on the operation condition and environment. Even though media error occurred immediately after head cleaning, replace the data cartridge with a new one because the tape may be probably damaged.

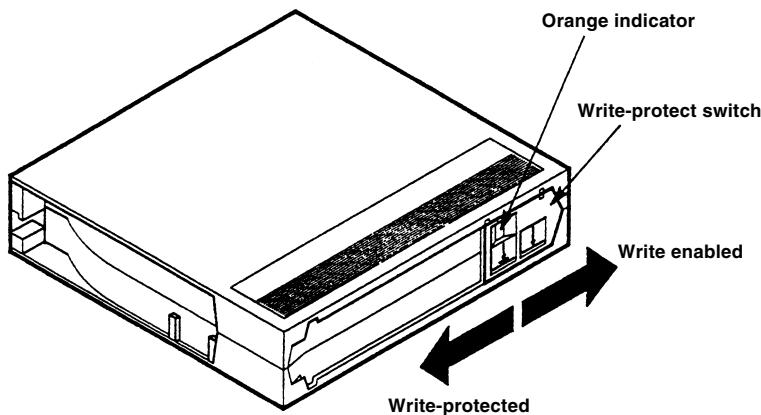
(2) Notes on handling cartridges

- Avoid sharp change in the ambient temperature/humidity (more than 15°C/hour, 20%/hour) to prevent cartridges from getting dew or frost.
- When the operating environment changes, use cartridges 24 hours or more after the change for adapting them to the different environmental condition.
- Be sure to keep each cartridge in a plastic case whenever it is not used.
- Carefully handle each cartridge not to drop it and not to apply it shock or vibration.
- Carefully keep each cartridge protecting it from dust, oil, etc.
- Neither uncover a cartridge nor touch the inside tape.
- Keep cartridges away from a device that generates a strong magnetic field (motor, speaker, etc.).

Point

Don't use any cartridge that got dropped, shocked or vibrated, because such a cartridge may cause failure in the unit.

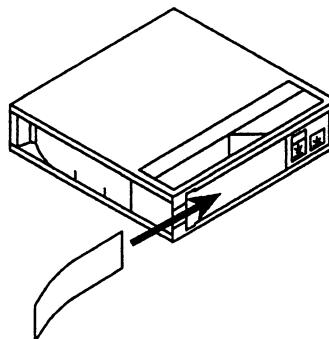
- Write-protect switch on the tape cartridge:



- Labelling storage media

When labelling a data cartridge, be sure to use the label supplied with the cartridge. Apply the label to the specified part of the cartridge (on the side of the write-protect switch). Don't stick the label onto the top, bottom, both sides and rear of the cartridge.

Right position to stick label



(3) Storage environment

- To maintain the data cartridges, it is required to keep the cartridges in the following environmental conditions.

No data recorded cartridges	Temperature: 16°C to 32°C Relative humidity: 20% to 80% (without dewing)
Data recorded cartridges	Temperature: 18°C to 28°C Relative humidity: 40% to 60% (without dewing) Ambient magnetic field: Less than 4000 A/m

Besides the above-mentioned environmental conditions, pay heed to the following points.

- Keep each cartridge in a plastic case.
- Don't expose a cartridge directly to the sun.
- Be careful to keep cartridges away from a device or instrument that generates a strong magnetic field such as CRT display, video player, speaker, motor and so on.

5 Specifications

Item		Built-in Tape Drive DLT8000 PG-DL401/PGBDL401
Drive		DLT8000
Non-compressed data storage capacity		40 GB/cartridge
Data transfer rate	Between medium and drive	6.0 MB/s
	On SCSI interface	20.0 MB/s (maximum)
Data compression function		Provided
Selective data recording density		20 GB, 35 GB or 40 GB
Number of tracks		208 tracks
Bit recording density		98,250 bpi
Track density		416 tpi
Error rate		Unrestorable error: Once per 1×10^{17} -bit reading
Host interface		FAST & WIDE SCSI Single-Ended/LVD
Power consumption		56 W (maximum)
External dimensions		149 (W) \times 86.3 (H) \times 243.8 (D) [mm]
Weight		2.9 (kg)

Note: Standard data compression rate is twice, however, it depends on contents of data to be compressed.

PRIMERGY
内蔵DLT8000ユニット
(PG-DL401/PGBDL401)
取扱説明書

Tape Drive DLT8000
(PG-DL401/PGBDL401)
USER'S GUIDE
P3FY-1580-01

発行日 2001年6月
発行責任 富士通株式会社

Date issued: June 2001
Published by: Fujitsu Limited

Printed in Japan

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- The contents of this manual may be revised without prior notice.
- The publisher assumes no responsibility for any infringement on the patents and other rights of third parties resulting from the use of the information contained herein.
- No part of this publication may be reproduced or transmitted in any form by any means without prior permission in writing from Fujitsu Limited.

FUJITSU